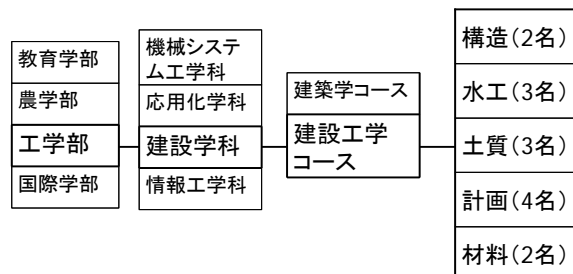


2007年度受審報告

高等教育機関名 : 宇都宮大学工学部建設学科
 プログラム名 : 建設工学コース
 JABEE対応責任者 : 進村武男(学部長)
 プログラム責任者 : 長谷部正彦

建設工学コースの構成



※数字は教職員数

実地審査に至るまでの経緯

年度	事 項
2003	コース内 JABEE WG発足
2004	学習・教育目標の設定と公開
2005	JABEE認定申請・実地審査
2007	中間審査申請・実地審査

建設工学コースの学習・教育目標

- (A) 専門基礎力の育成
- (B) 応用能力の育成
- (C) 問題解決能力の育成
- (D) 実行力の育成
- (E) 総合的視野の育成
- (F) 倫理観、責任感の育成
- (G) 情報および意思伝達能力の育成
- (H) 継続学習の基盤形成

2005年度審査結果

- ・ 認定期間:2年(2005年～2007年)
 - 2007年度中に中間審査を実施し, その結果が良好ならば, 認定期間を3年間延長
- ・ 中間審査対象項目:10項目
 - C:7項目(基準1, 3, 5)
 - W:3項目(基準3)

2005年度の主な指摘事項とその対応

基準1:学習・教育目標
 在学生の要望をどのように反映しているか確認できない
 →在学生懇談会を実施し, その記録を教職員で共有・保存する。

2005年度の主な指摘事項とその対応(つづき)

基準3: 教育方法

- (1) 共通教育科目が学習・教育目標を達成するための科目に含まれていることを確認した。
- (2) ただし、共通教育科目の選択科目がすべて学習・教育目標(E)に割り当てられており、その根拠が不明確である。
→ 共通科目を学習・教育目標に対応づける。
→ シラバスに科目の目標などを明記するように働きかける。
- (3) 教員相互の連携が不十分。特に非常勤講師や複数教員での担当科目、共通教育担当教員。
→ 非常勤: JABEEレクチャーと打合せの記録
→ 一般および専門共通科目担当者との懇談会

2005年度の主な指摘事項とその対応(つづき)

基準5: 学習・教育目標の達成

- (1) 共通教育科目のなかに達成度の評価基準が不明確なものがある。
→ シラバスに科目の目標や達成度の評価方法などを明記するように働きかける。
- (2) 1つの科目に複数の学習・教育目標が設定されているので、総合達成度を(正確に)評価できない可能性がある。
→ 1つの科目になるべく1つの学習・教育目標だけを割り当てるようにする。
- (3) 卒業要件を満たしていても、学習・教育目標を達成しない可能性がある。

学習・教育目標別達成度の評価方法 (2005年度以前)

- ・ 評価対象科目: コース専門科目のみ
 - 共通教育科目は卒業要件を満たせば、「素養」が形成されたものと評価する。
- ・ 科目ごとに各目標の重みを設定
 - ◎主体的に関与する科目: 2ポイント
 - ○付随的に関与する科目: 1ポイント
- ・ 学習・教育目標別達成度の計算
 - 単位修得した科目の重み付き合計値をコース専門科目のポイント合計値で除す。

コース専門科目のポイントの分布状況

目 標	必修科目		選択科目	必修 ポイント	最高 ポイント	必修 達成度
	2ポイント 科目数	1ポイント 科目数	1ポイント 科目数			
A	11	0	12	22	34	65%
B	12	2	10	28	38	72%
C	9	1	3	19	22	86%
D	8	0	0	16	16	100%
E	4	5	17	13	30	43%
F	2	7	8	11	19	58%
G	13	0	3	26	29	90%
H	8	2	3	18	21	86%

学習・教育目標の達成基準 (2005年度以前)

- ・ 各学習・教育目標の総合達成度が60%以上であること。
- ・ 必修科目だけでは60%に達しない目標
 - (E)と(F)
 - コースの専門選択科目をほとんど取らないと60%に達しない可能性がある。
 - 学生が4年に進級する際に点検し、達していない者には、特別な課題を与える。
 - ・ そのような者はこれまでいなかった。

学習・教育目標別の達成度評価方法 と達成基準(2006年度以降)

- ・ 評価対象科目: 全科目
 - 全科目と目標との関連性が示されたのを受ける。
- ・ 科目ごとに各目標の重みを設定
 - 主体的関与: 2ポイント, 付随的に関与: 1ポイント
- ・ 入学年度ごとに「標準ポイント」を算定
- ・ 学習・教育目標別達成度の計算
 - 科目成績の重み付き合計値を標準ポイントで除す。
- ・ 学習・教育目標の達成度を60%とする。
 - 成績評語で「可」に相当

中間審査 申請から実地審査まで

2007年

- 4月 中間審査申請書提出
- 7月 自己点検書提出
- 8月 審査チームより実地審査のスケジュール
- 9月 審査チームと事前打合せおよび
追加資料の提出
- 10月 実地審査
- 11月 1次審査報告書

自己点検書のスタイル

(4) 修了生全員のすべての学習・教育目標の達成

{点検基準}

修了生全員がプログラムのすべての学習・教育目標を達成しているか。

{判定と根拠・指摘事項}

C; 2004 年度修了生全員がプログラムのすべての学習・教育目標を達成している。しかし、科目の重み付き評価や一つの科目に多数の学習・教育目標を設定しているため、2005 年度修了生以降は卒業要件を満たしても習得する選択科目の組み合わせによってはすべての学習・教育目標を達成しない懸念があり、改善が望まれる。

{自己点検結果}

(1) でも述べたように、実験、実習など比較的学习時間が長い科目を除き、一つの学習・教育目標だけで評価できるように修正中である。また学生個々の目標達成度評価は、入学時に制定されていた科目と、その学習・教育目標にしたがって評価するものとし、年度初めに配布される学生の手引きに入学年度ごとの算定方法を提示した。

実地審査の概要

- 実施年月日: 2007年10月21日～22日
- 審査チーム
 - 審査長 1名(大学)
 - 審査員 1名(民間)
- 受審側の対応
 - 教職員全員
 - 学部長

実地審査1日目 10月21日(日)

- 15:00～16:00 資料閲覧
- 16:00～17:00 プログラム関係者面談(1)
- 19:00～ 審査チーム打合せ

実地審査2日目 10月22日(月)

- 9:00～10:00 プログラム関係者面談(2)
- 10:00～10:30 教員面談(新任)
- 10:30～12:00 プログラム関係者面談(3)
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～15:00 審査チーム打合せ
- 15:00～16:00 実地審査最終面談

中間審査結果(要旨)

基準3. 2:教育方法

- (1) 共通教育科目が学習・教育目標を達成するための科目に含まれていることを確認した。
- (2) ただし、共通教育科目の選択科目がすべて学習・教育目標(E)に割り当てられており、その根拠が不明確である。
 - それぞれの科目が「総合的視野」を養うのか？
 - それともさまざまな科目を履修することで「総合的視野」を養うのか？
 - 学生への指導を心がける。

中間審査結果(要旨, つづき)

基準5: 学習・教育目標の達成

- (1) 1つの科目に多数の学習・教育目標を設定したことを見直し, 各科目の主だった学習・教育目標のみを設定して, 達成度評価を行っている。
- (2) ただし, 履修指導なくとも学習・教育目標が達成できるカリキュラムにすることが望まれる。
→卒業要件との整合性について実績を蓄積する。

JABEE審査をうけて

- 学生との契約を果たすのだという意識が教職員側に現れてきた。
- 教育に関わるデータを蓄積・整理するシステムを構築中。
- 現状を組織的にチェックする体制ができた。
- 独自性が出しにくい感もある。
- 学科やコースの努力だけではなし得ないこともあり, 要望を満たすためには時間がかかることに理解をお願いしたい。